

地域工芸品のデザイン開発

— 桐工芸品のデザイン開発 —

工芸・意匠部 佐藤 茂 坂爪 幸重

1. 緒 言

キリといえば桐箆箆に代表されるように、キリ材の素材としての使われ方は限られている。生活が洋風化した今日でさえ、未だ桐箆箆としてのイメージは変わっていない。

そこで和風としての素材感をもったキリ材を使い、現代生活に合ったサイドボードを試作したので報告する。

2. 内 容

サイドボードは写真1 をベースに構成され、置き方によって縦型（写真2）にも横型（写真3）にもなる。部屋の広さ、使い勝手に応じて組合せが可能で、ユーザーの目的に応じて選択できる。

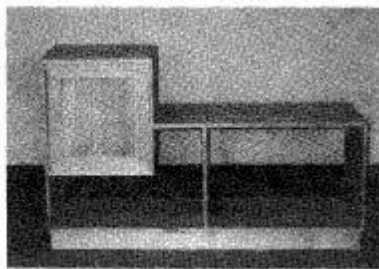


写真1 ベース

素 材： キリ

寸 法： L1, 300×W390×H670 (430)
T18 (単位mm)

仕上げ： ウツクリ仕上げ

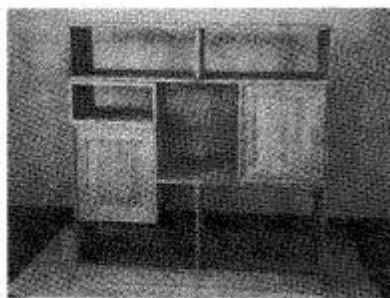


写真2 サイドボード（縦型）

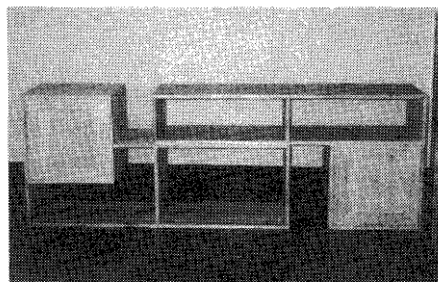


写真3 サイドボード（横型）

3. 結 言

このサイドボードは形状が直線的なため、モダン化した現代の和室にも使用できる。またイス、テーブル、キャビネット類等アイテムを増やすことによってシステム化することが可能である。

ファミリーユーズとしてのリビング、ダイニング、プライベートユーズとしての書斎、勉強部屋等用途の範囲を広げ、今後はさらに機能性、多様性を加味する必要がある。